

# 2019年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 結果報告書

## <概況>

受注量については、DIが7業種全てでマイナス値となり、前回調査に引き続き全体的に減少傾向が見られる結果となった。

今後の見通しについても、受注量同様に全ての業種でDIがマイナス値となり、慎重な見方が多く見受けられた。

受注単価については、若干の悪化傾向にあり、採算状況についても、前回まで高い水準にあった「黒字」企業の割合が低下した。

また、受注余力についても、「受注余力あり」と回答した企業の割合が7割を超えた。

## <項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 全体的に減少傾向が見られる。
- (2) 受注見通し : 全体的に慎重な見通し。
- (3) 受注単価 : 若干の悪化が見られる。
- (4) 資金繰り : 全体として大きな変化はなかった。
- (5) 採算状況 : 前回まで高い水準にあった「黒字」企業の割合が低下した。
- (6) 受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が70.6%と、前期と比較して6.2ポイントの増加となった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

## 【参考】

調査対象企業のうち約40社に対して、訪問等により景況感についてヒアリングを実施。

前回調査時(3月)同様、半導体製造装置関連の部品加工業者の多くは、米中貿易摩擦の影響により昨年末以降受注量が減少。一部ではスマートフォン新機種の開発時期に合わせて年末頃の復調を期待する声も聞かれたが、依然として先行きは不透明であるとの意見が目立った。

一方で一部大手メーカーが米中問題の長期化に先んじて生産拠点を国内に回帰させたため、受注量が以前より増加したという事例や、中国のメーカーから一旦ストップをかけられていた発注案件が再度動きだし、受注増の見通しを立てる企業もあった。

自動車業界については、北米、中国の両市場での減速感や車種・メーカーによって格差があるものの、比較的受注量の落ち幅は少なく、EV・HVの開発案件に係る受注は引き続き好調の様子であった。

調査対象期間 2019年4月～6月  
(2019年6月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 245社 (回答率 81.7%)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん  
の円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

### (3) 調査時点

2019年6月末日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

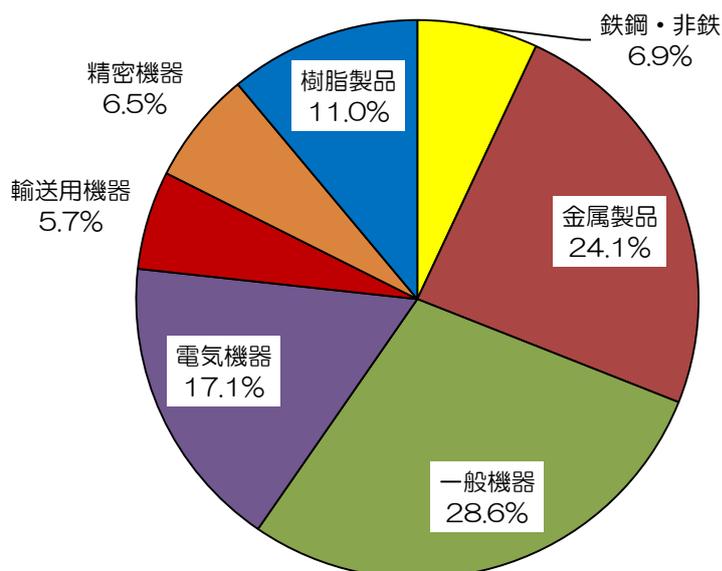
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）  
※一部企業へはヒアリング調査を実施

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	245社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	17社	( 6.9% )	
金属製品関係	59社	( 24.1% )	
一般機器関係	70社	( 28.6% )	
電気機器関係	42社	( 17.1% )	
輸送用機器関係	14社	( 5.7% )	
精密機器関係	16社	( 6.5% )	
樹脂製品関係	27社	( 11.0% )	
④ 回答率	81.7%	[前回：81.3%]	

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.4%		1 1.7%		2 4.8%			3 11.1%
~300万円	15 6.1%		4 6.8%	3 4.3%	3 7.1%	2 14.3%	1 6.3%	2 7.4%
301~999万円	12 4.9%		4 6.8%	5 7.1%		1 7.1%		2 7.4%
1000~2000万円	137 55.9%	10 58.8%	36 61.0%	42 60.0%	23 54.8%	3 21.4%	10 62.5%	13 48.1%
2001~5000万円	57 23.3%	5 29.4%	13 22.0%	17 24.3%	11 26.2%	2 14.3%	3 18.8%	6 22.2%
5000万円超	18 7.3%	2 11.8%	1 1.7%	3 4.3%	3 7.1%	6 42.9%	2 12.5%	1 3.7%
合 計	245 100%	17 100%	59 100%	70 100%	42 100%	14 100%	16 100%	27 100%

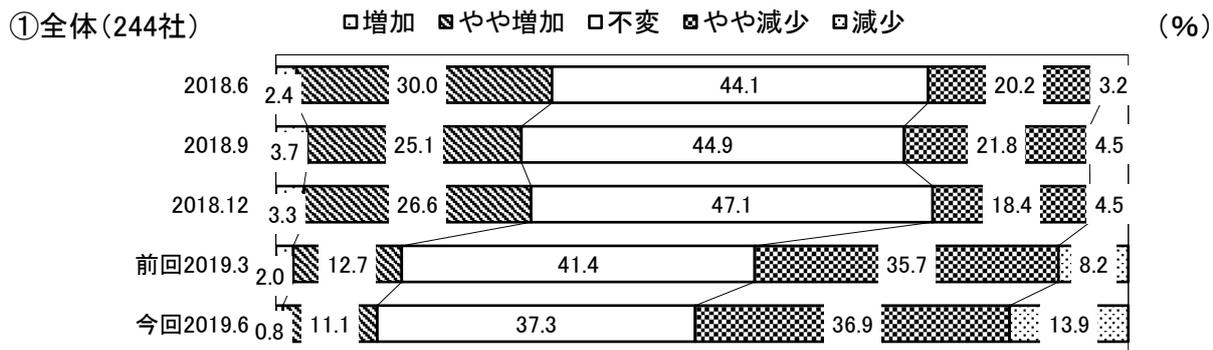
### (3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

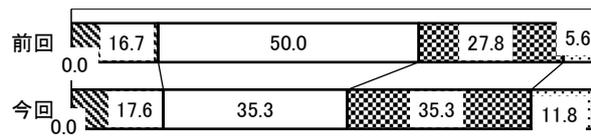
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 7.3%	4 23.5%	4 6.8%	5 7.1%	3 7.1%			2 7.4%
6~10人	27 11.0%	2 11.8%	5 8.5%	9 12.9%	3 7.1%	3 21.4%	3 18.8%	2 7.4%
11~20人	69 28.2%	2 11.8%	18 30.5%	28 40.0%	7 16.7%	1 7.1%	4 25.0%	9 33.3%
21~30人	33 13.5%	3 17.6%	12 20.3%	7 10.0%	5 11.9%		2 12.5%	4 14.8%
31~50人	41 16.7%	3 17.6%	9 15.3%	9 12.9%	11 26.2%	3 21.4%	2 12.5%	4 14.8%
51人以上	57 23.3%	3 17.6%	11 18.6%	12 17.1%	13 31.0%	7 50.0%	5 31.3%	6 22.2%
合 計	245 100%	17 100%	59 100%	70 100%	42 100%	14 100%	16 100%	27 100%

### 3. 調査結果

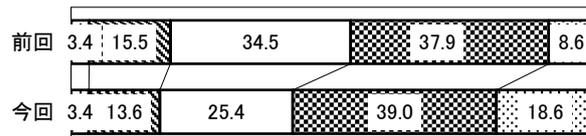
#### (1) 受注量について



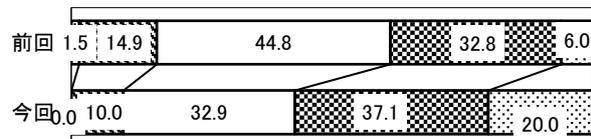
②鉄鋼・非鉄(17社)



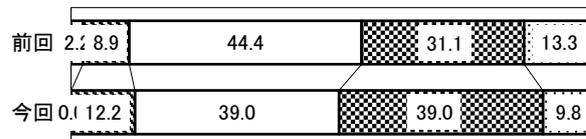
③金属製品(59社)



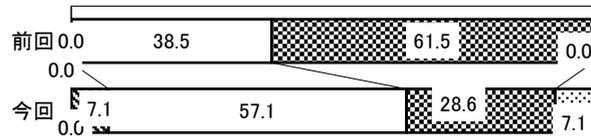
④一般機器(70社)



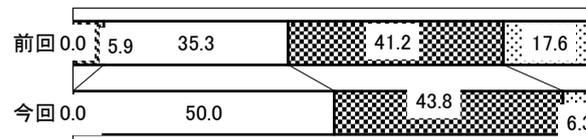
⑤電気機器(41社)



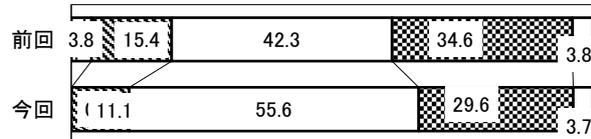
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(27社)



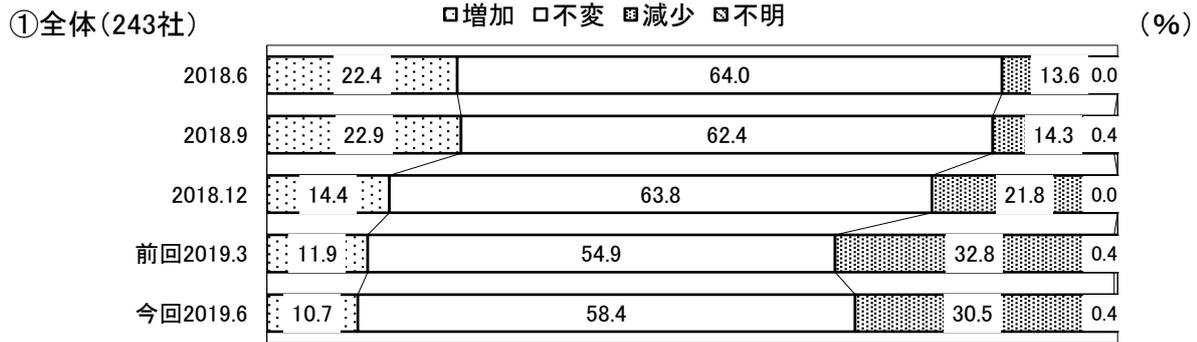
○全体

- ・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲38.9となり、前期（1月～3月期）のD I値▲29.2と比べ9.7ポイント低下と、前回調査に引き続き、全体的に減少傾向が見られる結果となった。

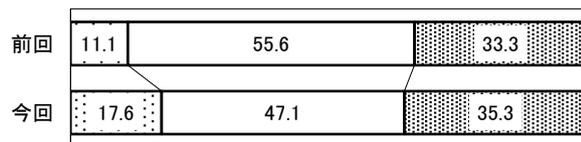
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（▲22.2）、輸送用機器（▲28.6）、鉄鋼・非鉄（▲29.5）、電気機器（▲36.6）、金属製品（▲40.6）、一般機器（▲47.1）、精密機器（▲50.1）と7業種全てでマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（32.9ポイント）、精密機器（2.8ポイント）の2業種で上昇。樹脂製品（▲3.0ポイント）、電気機器（▲3.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲12.8ポイント）、金属製品（▲13.0ポイント）、一般機器（▲24.7ポイント）の5業種で低下している。
- ・金属製品、一般機器、精密機器で「やや減少」もしくは「減少」と回答した企業の割合が過半数となった。
- ・輸送用機器、精密機器で「やや減少」もしくは「減少」と回答した企業の割合が低下した。

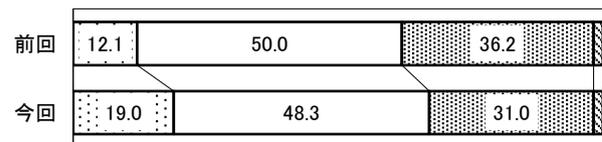
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



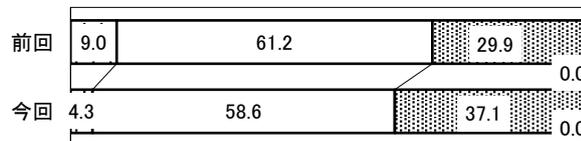
②鉄鋼・非鉄(17社)



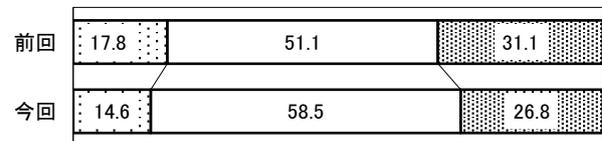
③金属製品(58社)



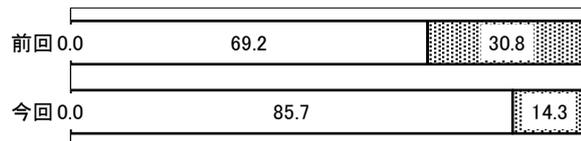
④一般機器(70社)



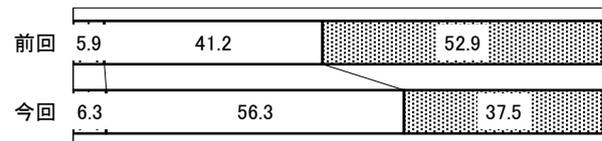
⑤電気機器(41社)



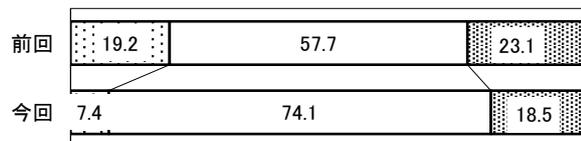
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(27社)



○全体

・次期(7月~9月期)の受注量見通しの業況判断D I(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲19.8となり、前期(1月~3月期)調査時のD I値▲20.9と比べ1.1ポイント上昇したものの、全体的に慎重な見通しとなった。

○業種別

・D I値は、樹脂製品(▲11.1)、金属製品(▲12.0)、電気機器(▲12.2)、輸送用機器(▲14.3)、鉄鋼・非鉄(▲17.7)、精密機器(▲31.2)、一般機器(▲32.8)と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器(16.5ポイント)、精密機器(15.8ポイント)、金属製品(12.1ポイント)、鉄鋼・非鉄(4.5ポイント)、電気機器(1.1ポイント)の5業種で上昇。樹脂製品(▲7.2ポイント)、一般機器(▲11.9ポイント)の2業種で低下している。

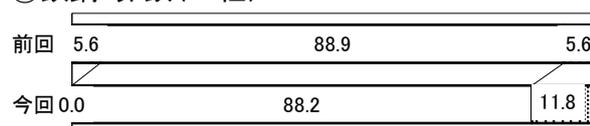
・金属製品で「増加」と回答した企業の割合が上昇し、「減少」と回答した企業の割合が低下した。

・一般機器で「増加」と回答した企業の割合が低下し、「減少」と回答した企業の割合が上昇した。

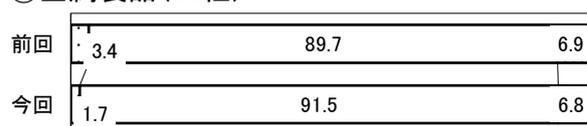
### (3) 受注単価について



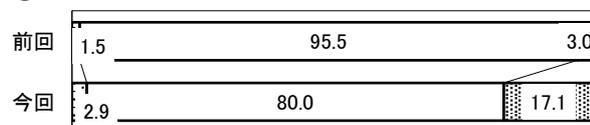
#### ②鉄鋼・非鉄(17社)



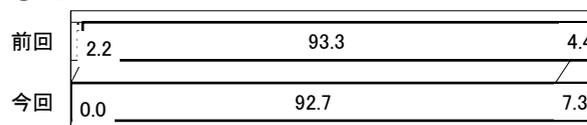
#### ③金属製品(59社)



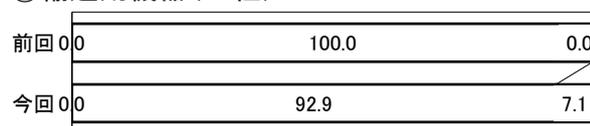
#### ④一般機器(70社)



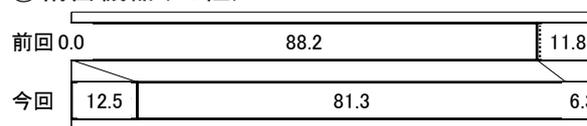
#### ⑤電気機器(41社)



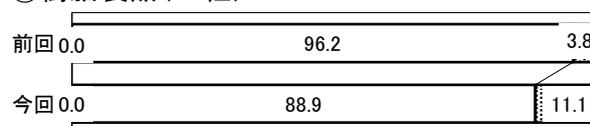
#### ⑥輸送用機器(14社)



#### ⑦精密機器(16社)



#### ⑧樹脂製品(27社)



#### ○全体

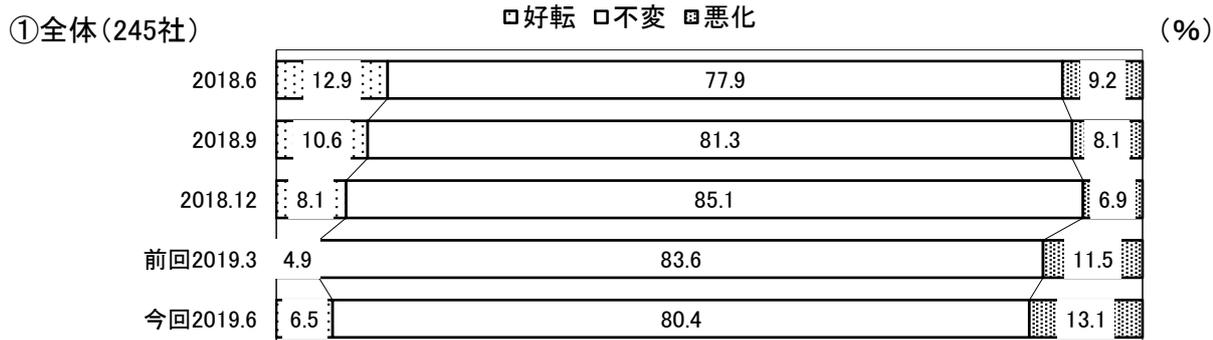
・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.7となり、前期（1月～3月期）のD I値▲2.9と比べて5.8ポイント低下と、若干の悪化が見られた。

#### ○業種別

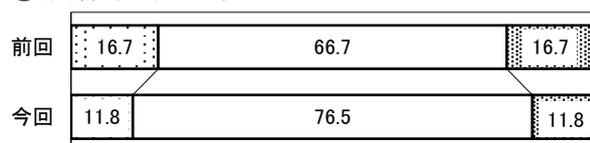
・D I値は、精密機器（6.2）の1業種のみ上昇。金属製品（▲5.1）、輸送用機器（▲7.1）、電気機器（▲7.3）、樹脂製品（▲11.1）、鉄鋼・非鉄（▲11.8）、一般機器（▲14.2）の6業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、こちらも精密機器（18.0ポイント）の1業種のみ上昇。金属製品（▲1.6ポイント）、電気機器（▲5.1ポイント）、輸送用機器（▲7.1ポイント）、樹脂製品（▲7.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲11.8ポイント）、一般機器（▲12.7ポイント）の6業種で低下した。

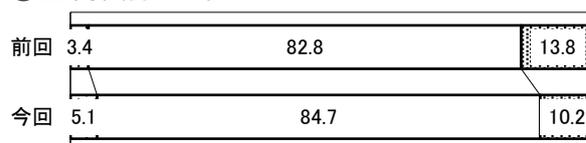
#### (4) 資金繰りについて



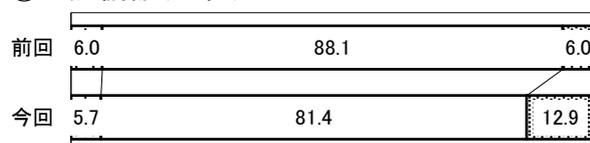
#### ②鉄鋼・非鉄(17社)



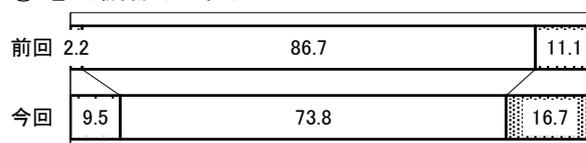
#### ③金属製品(59社)



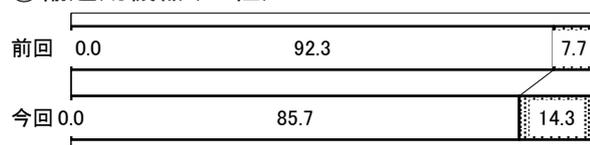
#### ④一般機器(70社)



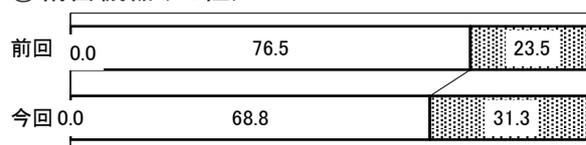
#### ⑤電気機器(42社)



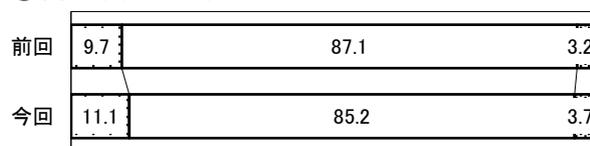
#### ⑥輸送用機器(14社)



#### ⑦精密機器(16社)



#### ⑧樹脂製品(27社)



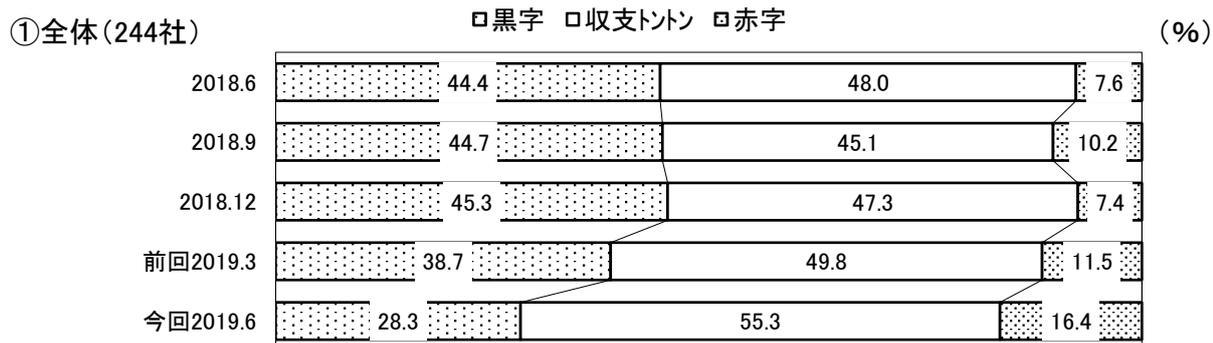
#### ○全体

- ・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.6となり、前期（1月～3月期）のD I値▲6.6と比べて±0ポイントと全体として大きな変化はなかった。

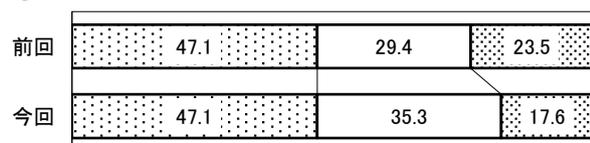
#### ○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（7.4）の1業種のみ上昇。「好転」と「悪化」の回答が同数であった鉄鋼・非鉄が±0となり、金属製品（▲5.1）、一般機器（▲7.2）、電気機器（▲7.2）、輸送用機器（▲14.3）、精密機器（▲31.3）の5業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、金属製品（5.3ポイント）、電気機器（1.7ポイント）、樹脂製品（0.9ポイント）の3業種で上昇。鉄鋼・非鉄のみ前期比±0ポイントとなり、輸送用機器（▲6.6ポイント）、一般機器（▲7.2ポイント）、精密機器（▲7.8ポイント）の3業種で低下した。
- ・一般機器、輸送用機器、精密機器で「悪化」の割合が増加した。

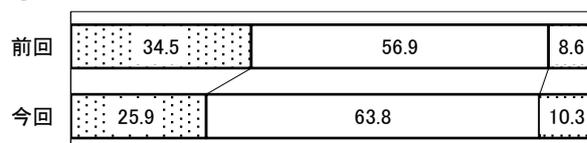
(5) 採算状況について



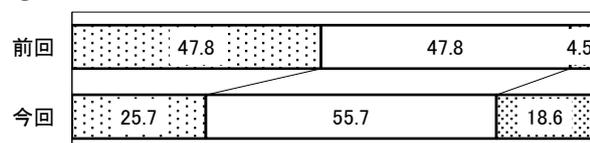
②鉄鋼・非鉄(17社)



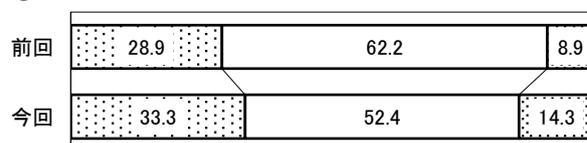
③金属製品(58社)



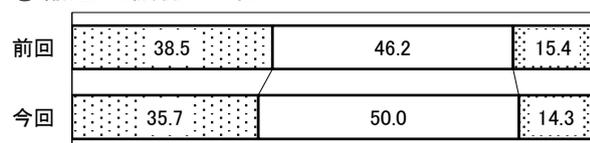
④一般機器(70社)



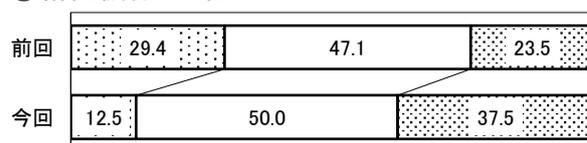
⑤電気機器(42社)



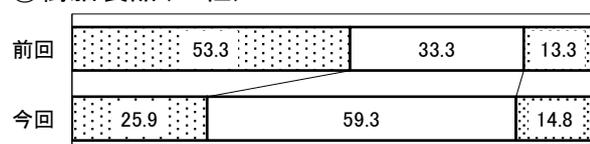
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(27社)



○全体

- ・4月～6月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は11.9となり、前期(1月～3月期)のD I値27.2と比べ15.3ポイント低下し、前回まで高い水準にあった「黒字」企業の割合が低下した。

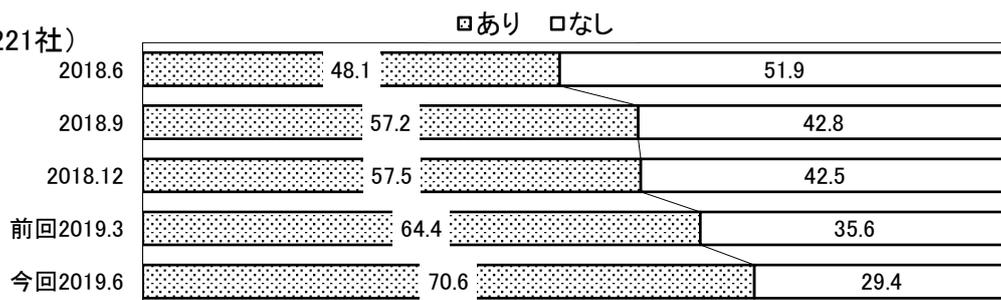
○業種別

- ・D I値は、鉄鋼・非鉄(29.5)、輸送用機器(21.4)、電気機器(19.0)、金属製品(15.6)、樹脂製品(11.1)、一般機器(7.1)の6業種でプラスとなり、精密機器(▲25.0)のみマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(5.9ポイント)の1業種でのみ改善傾向が見られたが、電気機器(▲1.0ポイント)、輸送用機器(▲1.7ポイント)、金属製品(▲10.3ポイント)、樹脂製品(▲28.9ポイント)、精密機器(▲30.9ポイント)、一般機器(▲36.2ポイント)の6業種は悪化傾向となった。
- ・金属製品、一般機器、精密機器、樹脂製品における「黒字」企業が減少した。

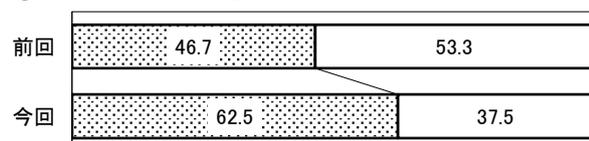
## (6) 受注余力について

(%)

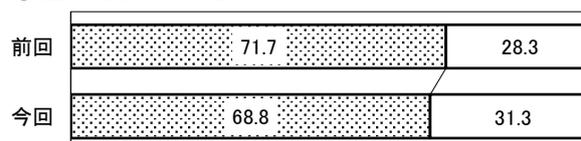
### ①全体(221社)



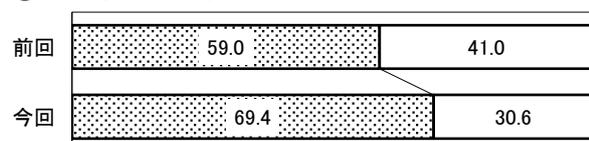
### ②鉄鋼・非鉄(16社)



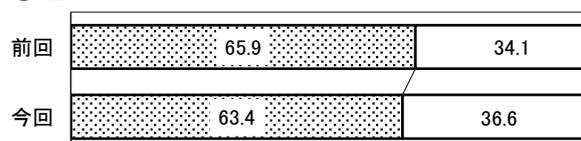
### ③金属製品(48社)



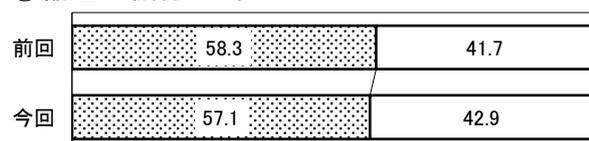
### ④一般機器(62社)



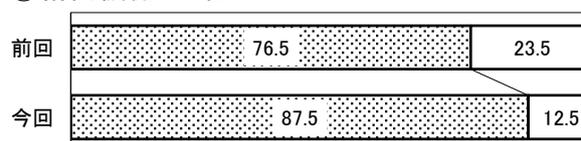
### ⑤電気機器(41社)



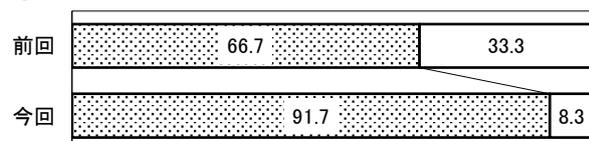
### ⑥輸送用機器(14社)



### ⑦精密機器(16社)



### ⑧樹脂製品(24社)



#### ○全体

・4月～6月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は41.2となり、前期(1月～3月期)のD I値28.8と比べ12.4ポイント上昇した。

(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

・4月～6月期は「受注余力あり」とする企業が70.6%と、前期と比較して6.2ポイントの増加となった。

#### ○業種別

・D I値は、樹脂製品(83.4)、精密機器(75.0)、一般機器(38.8)、金属製品(37.5)、電気機器(26.8)、鉄鋼・非鉄(25.0)、輸送用機器(14.2)と7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品(50.0ポイント)、鉄鋼・非鉄(31.6ポイント)、精密機器(22.0ポイント)、一般機器(20.8ポイント)の4業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。輸送用機器(▲2.4ポイント)、電気機器(▲5.0ポイント)、金属製品(▲5.9ポイント)の3業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp